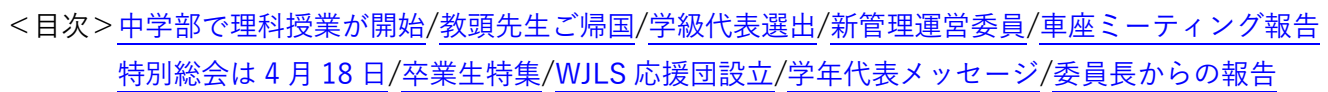
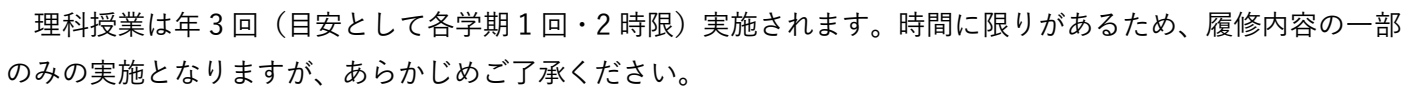


晴れてご卒園・ご卒業の日を迎える生徒の皆様、そして保護者の皆様に心からお祝い申し上げます。今年度も、保護者や学校関係者の皆様には様々な場面でお力添えを賜り、誠にありがとうございました。今月のみらい通信では管理運営委員会からのお知らせに加え、卒業生特集を掲載しています。どうぞ最後までご覧ください。

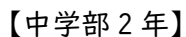


2026 年度 4 月より、本校中学部において、これまでの国語・数学・社会に加え、新たに理科授業が開始され、4 教科体制となります。今後ますます文部科学省が推進する STEAM 教育（STEM：Science、Technology、Engineering、Mathematics に、(A)Arts や Liberal Arts を加えたもの）の重要性が高まる中、理科授業を通して、本校の生徒たちが日本語で自然現象や物事への理解を深め、科学的な見方・考え方を養い、問題解決能力や科学技術への関心を高めてほしいと願っています。



【中学部 1 年】

- 植物の特徴と分類
- 身近な物理現象
「音の性質」
- いろいろな物質とその性質



- 細胞のつくりとはたらき
「生物を作る細胞」
- 地球と大気と天気
「いろいろな雲」
- 電流とその利用
「電流と電圧」

- 【中学部 3 年】

- 生命の連続性
「細胞分裂」
 - 運動とエネルギー
「エネルギーの変換・てこの原理」
 - 地球と宇宙
「季節の変化はなぜ起きるのか？」
- 



また、本校には理系分野を専門とされる保護者の皆様が多数いらっしゃいます。その強みを生かし、理科授業と連動した「放課後理科講話会」も実施予定です。授業で学習した内容が社会や身近な生活の中でどのように活用されているのかを、専門家である保護者の方々にお話しいただきます。

生徒にとって、専門家のお話を直接聞くことは、理科への興味・関心をさらに高める貴重な機会になると期待しています。本校が掲げる「共働学習」を体現する理科学習の場となることを願っております。

現在、講師をお引き受けいただける保護者の方を募集しております。ぜひ下記リンクよりご応募くださいますよう、お願い申し上げます。応募リンク：<https://forms.gle/NPNZFVLUCeruCYPg8>

山内光教頭先生ご帰国のお知らせ

このたび、本校で2年間ご尽力くださった山内光教頭先生が、任期を終え帰国されることとなりました。これまで学校運営をはじめ、日々の教育活動や行事など、さまざまな場面で温かくご指導いただき、私たち保護者や子供たちを支えてくださいました。いつも穏やかに接してくださるお姿に、安心感を覚えた方も多かったのではないのでしょうか。運動会や卒業式を頼もしく取り仕切ってくださったことや、昨年の新春祭りや青い封筒募金などのイベントにも快くご参加くださった姿が印象に残っています。

これまでのご尽力に心より感謝申し上げますとともに、教頭先生のこれからのご健康とさらなるご活躍をお祈り申し上げます。どうぞお元気で！



【告知】新年度学級(副)代表選出について（新小学部2年生～新高等部2年生の保護者対象）

新小2～新高2は2026年度のクラス発表後からおよそ1週間の間、新年度学級代表と副代表の立候補を募ります。立候補締め切りまでに応募がなかったクラスについては、学年代表が免除対象者を除外した上で抽選を行い、選出順位を決定します。上位2名を順に代表、副代表とし、それぞれに選出されたことをご連絡致します。

学級代表は、教室当番・学校行事のお手伝いが免除され、次の学年度の学級代表も免除されます。規定による免除が適用になるご家庭の保護者を除き、すべてのご家庭が対象となります。退学や帰国予定のご家庭は、退学届けが立候補締め切り日までに提出されていない限り、抽選対象となっておりますのでご承知おきください。

学級代表の仕事内容は、[学級代表の手引き](#)をご覧ください。（ご覧になる際には2025年度の保護者パスワードが必要です。）

新管理運営委員ご紹介



古谷 有希子

はじめまして、総務を担当することになりました古谷有希子と申します。我が家は4月から1年生になる娘とエクアドル人の夫の3人暮らし。家庭内は日本語・スペイン語・英語が飛び交っています。娘は将来日本に住みたいと言っているのですが、日本語学校での頑張り次第でスペイン語を忘れたらエクアドルに送り出す、と脅している鬼母です。入学して一年半、学校からのメールをちゃんと確認しなかったせいでギリギリになってからイベントに気づいたり、お手伝い募集に出遅れたり、主体的に関われていませんでした。「中の人になれば変わるかも」と思い切って手をあげた次第です。娘がワシントン日本語学校をもっと楽しめるよう、そして…先生方に顔を覚えていただいて、娘が少々はっちゃけても大目に見えていただけるよう（笑）、精一杯務めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



守屋 麻子

この度、教育人事部でお手伝いさせていただくことになりました守屋麻子と申します。ワシントン日本語学校には、9年前に長男が幼稚部に入園して以来、お世話になってきました。現在は、次男が小4に在籍しています。家庭で日本語を維持しながらのアメリカでの子育ては、試行錯誤の連続ですが、日本語学校で出会った素晴らしい先生方や保護者の皆さんに支えていただき、何とかやってこられたと感じています。普段は、米国医療費の家計調査や政策分析の仕事をしており、教育も人事も、すっかり素人ですが、少しでも学校運営のお役に立てたらと思っています。ぜひよろしくお願いいたします。

【報告】車座ミーティングを開催しました（みらい共育小委員会）

2月21日に車座ミーティングを開催しました。校長先生のお力添えもあり、参加者の保護者の方が、車座（円形）に座り、我が子の自慢や子育ての悩みを自分目線で語る、温かい時間となりました。ご参加くださった皆様に感謝申し上げます。

（詳細は、[2月28日発行の「はなみずき」](#)をご参照ください。要:パスワード）



車座ミーティングって何？と思われた方もいらっしゃるかと思います。車座ミーティングは、日々の悩みや疑問を、校長先生やほかの保護者の皆さんと、車座形式で話してみようという、みらい共育小委員会が企画した実験的な取り組みです。

みらい共育小委員会は、コロナ禍で減少した生徒数が回復しない状況を受け、何かできることはないかと模索する中で発足しました。2023年度に1年間で活動終了しましたが、2025年度に再開し、現在は、ワシントン日本語学校の魅力を「再発見」し、またより「増進」させて、そして私たちの学校の魅力を「発信」していくことを主にして活動しています。その過程で、「子供にとっての魅力とはなにか」そして「保護者にとっての魅力とはなにか」を折に触れて話し合ってきました。

そうした中で生まれたのが、今回の車座ミーティングです。でも、もともとはタウンホールミーティングをやってみようというところから始まりました。「保護者の皆さんが、学校に期待することは何か」「これからの時代に求められる教育とは何か」など、学校の将来について皆さんと考えてみたいと思ったためです。

そこで東間校長先生にご参加を依頼したところ、次のようなお返事をいただきました。



”私は校長（長く教育界に携わってきた者）としてまた子育ての先輩（失敗のプロです）として、シンプルに今本校に通わせている保護者の【ご自身のお子さん】の日頃の悩みや困りに耳を傾け、一緒に語り合いたいなあと着任以来思っておりました。一中略ー2つの学校に通わせることを子供と同じくらいがんばっている保護者が、語らいの中から「今の子供とのかかわりで大丈夫なんだ、心配なくていいんだ」「私だけじゃないんだ、同じような思いをもった方がいるんだ」「そっかこんなやり方もあるんだ、明日からこうやってみようかな」など、少しでも共感・安心・元気、そして気付き・ヒントなどを持ち帰っていただくと共に、そのための「保護者の応援団」に私はなりたいと思っています。”

これを読んで、「これだ!」と感じました。保護者の皆さんは、学校や校長先生に自分たちの子育てを応援してもらえたらとてもうれしいのではないかなと思ったのです。こうして「タウンホールミーティング」は「車座ミーティング」という形となりました。当日はほんの1時間でしたが、校長先生の温かいコメントに励まされながら、保護者それぞれが悩みや子供の成長の喜びを語り合いました。お互いを応援する気持ちが広がったように感じました。

「共育」という言葉には、「共にそだつ」という意味に加えて、保護者と学校が「共にはぐくむ」という意味もあるかと思います。WJLSは子供たちの学びの場であると同時に、保護者の私たちにとっても、学校や校長先生をはじめとした教職員の皆さんに応援してもらっている場所です。私たちも互いを応援し、応援され、それぞれの子育てに寄り添うコミュニティであることが、これからのWJLSの魅力になっていくように思います。子育ての悩みがつかない私たち保護者も、皆で共に育っていききたいものですね。



【予告】2026 年度の特別総会は 4 月 18 日（土）です



2026 年度の特別総会を、**4 月 18 日(土)**に開催いたします。詳細が決まり次第、保護者の皆様へ改めてご連絡いたします。特別総会では、新年度の運営方針をはじめ、2026 年度予算の審議および 2026 年度授業料に関する提案も行う予定です。また、運営委員会の活動内容もご報告いたします。

総会は、皆様からのご意見やご提案を頂戴する貴重な機会です。ぜひご出席くださいますようお願いいたします。ご質問やお問い合わせがございましたら、[運営委員会まで](#)お気軽にお寄せください。



保護者総会って、どんな会？

「保護者総会」と聞くと、「なんだか堅そう」「行かなくても良いかな・・・」「委任状さえ出しておけば大丈夫」そんな印象を持たれる方もいらっしゃるかもしれません。年に 2 回、春と秋に開催される「保護者総会」は、学校方針や学校と保護者をつなぐ管理運営委員会の活動を知り、これまでの取り組みの報告や、今後の方針を共有する大切な場です。運営委員も様々な保護者の皆さんとお話したいと思っています。特別な知識や経験は必要なく、どなたでもご参加いただけます。

総会では何をするの？

- ・校長先生から、今年度の本校の教育方針をわかりやすくご説明いただきます
- ・「管理運営委員会って何をしているの？」を知っていただける機会でもあります
- ・本校に関するこれまでの活動報告・会計報告などの重要事項について、保護者の皆様とともに確認・**承認を行う大切な場**でもあります
- ・「ちょっと気になっていたこと」「今さら聞きにくいこと」も、担当者が直接お答えします

出席すると、こんなことが分かります

- ・学校や管理運営委員会の「今」が分かる
- ・行事や活動の背景を知ること、学校との関わりが身近になる
- ・疑問や不安が解消され、安心して一年を過ごせる
- ・ご要望は委員会に持ち帰り検討されます
- ・**発言の必要はなく、聞くだけの参加でも大丈夫です**
初めて参加される方も、毎年多くいらっしゃいます
- ・総会は春と秋の年 2 回開催され、春は「特別総会」秋は「年次総会」と呼ばれています

よくあるご心配について

「運営委員をお願いされるのでは…」
「何も分からないけど大丈夫？」
といった声もよく聞かれますが、その場で誘われたり突然何かが決まることはありません

短時間の参加でも問題なく、
堅苦しい雰囲気ではありませんので、
どうぞご安心ください！

まずは“知ること”から

「難しそう」「聞くだけで終わりそう」—そんな心配はいりません。総会は、学校のことを**知って・聞いて・直接話せる**時間です。あなたの声を聞かせてください。

「参加してよかった」と感じていただける、**学校と保護者をつなぐ大切な場**です。少しでも興味をお持ちいただけましたら、ぜひ気軽な気持ちでご参加ください。皆様のご出席をお待ちしております。

【特集】令和 7 年度ワシントン日本語学校卒業生



本校では 3 月 21 日に第 67 回卒業証書授与式が行われます。小学部 6 年生 41 名、中学部 3 年生 30 名、高等部 2 年生 22 名の生徒たちが晴れて卒業の日を迎えます。卒業生、また保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。今年度の卒業生 93 名を代表し、5 名の生徒が卒業にあたっての思いをつづってくれました。ぜひご覧ください。



宿題（小学部卒業生 オスィフシェン海）



僕は 6 年生になるまでは、宿題をするのが大嫌いだった。いつも宿題の課題は金曜日にするのがほとんどで、毎週そのことでお母さんに心配されていた。しかし、6 年生になってから、こんなにストレスのたまる金曜日を過ごすのが、もう耐えられなくなった。そこで僕は考えた。リラックスして金曜日を過ごすにはこれしかない。そう、宿題を土日に終わらせるということだ。週末に宿題を終わらせることで、月火水木金はリラックスして過ごせるようになった。また、お母さんにも心配をかけずに宿題ができるようになった。

僕は幼稚部から 7 年間、日本語学校で楽しい思い出をたくさん作ることができた。時には楽しすぎて、授業中も友達と話してしまい、先生に迷惑をかけてしまったこともある。しかし、心を改めて中学生になったら模範生を目指して頑張りたいと思う。

サッカーと友達（小学部卒業生 ストローン学）



僕がこの日本語学校に入ったら、友達は 4 人だけでした。でも今は、たくさんの人と友達になりました。その友達のほとんどは日本語学校のサッカー部に入っています。

僕はサッカーが大好きです。何より、土曜日の朝から、日本語の授業をがんばって、放課後のサッカー部で友達と思いきりするサッカーは最高に楽しかったです。

僕は 4 月から中学生になります。これからもサッカーを楽しみつつ、苦手な漢字が得意になるように漢字練習をしっかりとがんばりたいと思います。

幼稚部、小学 6 年間とお世話になった先生方、ありがとうございました。

卒業に思う事（高等部卒業生 マハフィー星夜）



僕にとっては、この日本語学校で過ごした 11 年間は決して簡単なことではなかったです。仲良くなっていた友達が日本に帰国してしまうし、宿題の量も少なくはなかったです。何度もやめようと思いましたが、やめなかった理由がいくつかあります。まずは、ハーフでありながらも日本人として日本語力を維持していたからです。そして、長年通っていたこの学校の高 2 の卒業式をむかえる目標を達成したかったのです。しかし何よりも、友達がいたから、諦めずにやり遂げたと思っています。通い続けたおかげで、JLPT・漢検・習字などの資格を得ることができ、今の自分になれたと思います。

挑戦と成長の3年間（中学部卒業生 ロイド青空）



幼稚園から通ってきた日本語学校での時間は、私にとって大切なものです。特に中等部の3年間では、応援団に参加して他学年と一致団結した運動会や、学校とのつながりを実感した生徒会など、さまざまな経験を通して成長できました。

楽しい思い出が多い一方で、平日の現地校との両立に悩み、続けることに迷った時期もありました。しかし、支えてくれた先生や友達、この学校でしかできない経験が、私を前向きにしてくれました。もしあの時諦めていたら、今の仲間や忘れられない思い出を作れなかったと思います。

これからの高等部の2年間も、一日一日を大切にしながら、新しい挑戦に全力で取り組んでいきたいです。

一期一会（高等部卒業生 高梨華瑠）



私はたくさんの人に支えられ、12年間日本語学校に通い続けることができました。みなさん、勉強も大事ですが、出会いを大切にしてください。出会った人と友達になり、別れたりすることもあると思いますが、お互いに出会った人という楽しい、成長できる人と友達でいてほしいと願います。日本語学校や現地校で作る友達は長い付き合いになると思います。後悔がないようにたくさん大切な人と時間を過ごしてください。日々感謝の気持ちを忘れずに過ごしてください。ありがとうございました。



WJLS 応援団設立のお知らせ

この度、WJLSに関わってこられた皆様が再びつながり、長期的に学校を応援・支えていくことを目的として、任意団体「WJLS 応援団」を設立いたします。WJLS 応援団は、いわゆる「同窓会」とは異なり、少しでもWJLSと関わりを持たれた方であれば、どなたでもウェルカムです！

例えば、卒業生・同窓生（在籍期間は問いません）およびその保護者、在校生およびその保護者、現/元教職員など、立場を問わずWJLSに思い入れを持ち、今後も何らかの形で応援したい方が緩やかにつながるためのコミュニティです。現時点では会費や寄付の徴収は行わず、参加・離脱はすべて自由です。

まずは登録制のコミュニティとして立ち上げ、初年度はオンライン交流会を開催する予定です。今後、日本への帰国や受験に関する経験共有、進路相談、学校との継続的な交流など、参加者同士のつながりから自然な支援が生まれていくことを期待しています。なお、本応援団はWJLSとは別の任意団体で、学校の運営とは独立しています。ご関心のある方は、以下よりご登録ください。

【参加登録フォーム】 <https://forms.gle/EYWMXnzU5kGzAXsf7>

【設立準備委員会メンバー】
○ 同窓生 吉村亮太（1974～1977年在籍／小4末～中2初）
○ 在校生保護者 河野真弓（元広報部長）
○ 元在校生保護者 牛嶋崇（元副委員長）

WJLS 応援団設立準備委員会（問い合わせ先：wjls.ouendan@gmail.com）

※「WJLS 応援団」と「既存の同窓会ネットワーク」の違いについては[こちら](#)をご覧ください。



「学年代表」から保護者の皆様へ ～伝統を未来へつなぐ、私たちにできること～

保護者の皆様、いつも学校運営への温かなご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございます。世界で最も長い歴史を持つワシントン日本語学校 (WJLS)。その運営を支える「管理運営委員会」の中で、私たち学年代表は、保護者の皆様と学校をつなぐ「架け橋」となるべく活動しています。今年度は延べ 33 名の学級代表の皆様に、緊急時の連絡網づくりなどで多大なるお力添えをいただきました。この場をお借りして、心から感謝申し上げます。



【今年、皆様と一緒に歩んだ一歩】

2025 年度、私たちは「保護者の皆様の声をカタチに」を合言葉に、こんな活動に取り組んできました。

- ・低学年クラスのお手伝い調整：新学期のスタート時、先生方のニーズに応じて、学級ごとに必要な保護者のお手伝いを手配できるよう調整しました。
- ・保護者控室のオープンに向けて：特別総会でご要望があった保護者控室の開放については、総務部や事務局の知恵と、校舎職員の手を借りつつ試行運用を行いました。いよいよ 2026 年度からの常時開放に向けて最終調整が整いつつあります。どうぞお楽しみに！

【新体制による効率化と成果】

かつて 3 つの校舎に分かれていた時代から、学年代表の役割は大切に引き継がれてきました。現在は全員が同じ校舎に集い、意思疎通や作業の効率化も図れるようになったことから、学年代表を「3 名から 2 名体制（低中学年・高学年各 1 名）」へと再編し、広報やファンドレイジングなどが強化されました。

新体制により、学年代表一人当たりの関わる作業は増えましたが、一つ一つの課題に対する意思疎通は学年代表間で以前よりもいっそう取りやすくなり、より機動力がついたと感じています。

【廊下での「たわいもない雑談」を大切に】

児童生徒数が 500 人を超える規模の本校では、保護者の皆様の土曜日の過ごし方もそれぞれです。他の方との交流を楽しみにされている方もいれば、限られた時間で効率よく用事を済ませたい方、あるいは喧騒を離れてお一人で静かに過ごしたい方もいらっしゃるでしょう。一方で、学年が進むにつれて校舎内に入る機会が減り、保護者同士の気楽な付き合いが感じにくくなったというお声も耳にします。



「転入されたばかりのご家庭にお知り合いは増えたかな？」「小さなお子さんの手を引くお迎えのお母さん・お父さん同士、プレイエリアで少しでも息抜きができているかな？」……。そんなふうに皆様の想うとき、私たち学年代表は、もっと積極的に皆様とお近づくになれるきっかけを作りたいと感じています。いつもではないものの、お当番などで校内におられる皆様をお見かけしたとき、こちらからお声がけして、たわいもない雑談からお見知りおきいただければという気持ちがあります。もちろん、突然声をかけて警戒させたり、貴重な時間を邪魔したりするつもりはありません。もし私たちの全力の「おはようございます！」に戸惑わせてしまうことがあれば、「あ、横のつながりを作ろうとしてくれているんだな」と、その意図をご容赦いただければ幸いです。

忙しい土曜日ですが、少しでも保護者の皆様の温かな輪を感じていただけるよう、これからも工夫を重ねていきたいです。

【共に、2026 年度へ】

本校には、幼稚部から高等部まで幅広い年齢のお子さんが通い、ご家庭の環境も様々です。幅広い年齢のお子さんをお持ちのご家庭では、保護者の皆様の関心事もそれぞれに異なるはず。一方で、お子様の貴重な子供時代の毎週土曜日を、あえて「日本語学校」への通学に費やすという選択をしたこと—その根底にある価値観には、きっと共通するものがあるはずです。私たちは、そんな同じ価値観を見出した保護者の皆様が、互いの境遇を尊重し、共感し合える場こそが日本語学校であってほしいと願っています。ここは子供たちが学ぶ場所であると同時に、保護者の皆様ご自身にとっても、大切なネットワークを広げ、支え合えるコミュニティであると感じていただけたら、これほど嬉しいことはありません。



この素晴らしいコミュニティを次世代へつなぐため、私たちと一緒に管理運営委員会の一端を担ってくださる方を募集しています。「仕事が忙しいけれど大丈夫かな？」という方も、まずは気軽にお話ししてみませんか？運営を深く知ることによって得られる有益な情報、助け合える仲間との達成感、そして将来の役割免除といった現実的なメリットなど、ご説明いたします。お気軽に[こちらまで](#)ご連絡ください。

未来を担う子供たちが、日本語で学び、世界へ共にはばたくための場所。その「今日の一步」を、2026 年度も皆様と一緒に作っていただけることを楽しみにしています。

2025 年度 学級代表・運営協力者の皆様 ～心からの感謝を込めて～

2025 年度の運営において、私たち学年代表に大きな力を貸して下さった皆様をご紹介します。年度途中に日本へのご帰国や転勤などで離任された皆様も含め、お一人おひとりがクラスのために、そして子供たちのために尽力して下さったことに、この場を借りて深く御礼申し上げます。皆様の献身的なサポートのおかげで、今年度の教育環境が守られ、次の 2026 年度へと無事にバトンをつなぐことができました。

高2A トイゴ 絹さん・高1A 倉橋 裕子さん

中3A 前田 貴子さん・中3B ディヴィッドソン 舞子さん

中2A 榎原 みどりさん・中2B 佐藤 恵子さん

中1A 金 典子さん・中1B 伊藤 奈々さん・中1C 阿部 賢介さん

小6A 北田 玲子さん・小6B 木梨 鏡子さん

小5A ソラー 綾さん・小5B 佐藤 友美さん

小4A 塩原 恵美さん・小4B 長谷川 江梨子さん・小4C ジェンキンス 加奈さん

小3A シーブルック 智美さん・小3B 原田 加那子さん・小3C 小林 ゆかさん・小3D 霞 久美さん

小2A 市野 亜美さん・小2B 系川 由さん・小2C 高橋 芙佐子さん

小1A ジェンキンス 加奈さん・小1B 阿部 真司さん・小1C パーラ ハ恵さん

年長A おひさま 岸本 俊さん・年長B にじ 村井 美甫さん

年中うさぎ 熊谷 早記さん



委員長からの報告



皆様、今年度最後のみらい通信となりました。今日卒園を迎えられる年長組の皆さん、来週卒業を迎えられる皆さん、おめでとうございます。また、卒業式が行われる来週は短縮授業となるため、小学生以上の児童生徒にとっては、2025年度の1日授業は今日が最後です。この1年間のお子さんの成長を振り返りつつ、保護者の皆様もお子さんの学びを支える「チーム『（お子さんの名前をどうぞ）』」の一員として、今年1年頑張ったご自身を褒めていただければと思います。1年間お疲れさまでした！また来年度も一緒に頑張りましょう！！

今年度最後の管理運営委員会は、2月最終週に行われました。前回に引き続き予算の審議を行った他、2026年度に向けた様々なルールの見直しや整理について検討しました。また、最近実施されたファンドレイズの取組や車座ミーティング、IT分野の1年間の書面報告なども実施し、こちらも年度末から年度初めに向けた準備が進んでいます。

最近、「委員会はどんなことをやっているのですか？」という質問をお受けしました。ご希望であれば、直接お話しもできますので、uneiiinkai@wjls.org まで是非メールを送ってください。また、4月には特別総会も予定されていますので、こちらも委員会が何をしていて、学校の運営がどのように行われるかを知る良い機会です。ぜひご参加ください。

引き続き、保護者の皆様からのワシントン日本語学校及び管理運営委員会へのご支援をよろしくお願い申し上げます。



委員長： 栗原美恵
副委員長： 大久保智夫
総務部： 大光麻紀子（部長）・青柳陽介・カリクレッテ郁子・ジャコブソン彩子・古谷有希子
財務部： 安東宇（部長）・井上八重子
教育人事部： 向山こずえ（部長）・黒木友里・寺部正記・中村公紀・守屋麻子
広報・PS部*： 竹内由美（部長）・横山優子・渡部智彦
学年代表： ジョーンズ紀子（低・中学年代表）・シーブルック留実（高学年代表）

* 広報・パートナーシップ部の略

